

安全のために必ずお守りください。

警告

- 自転車のブレーキは製品のモデルによって取扱いが多少異なることがあります。したがって、ブレーキレバーへの入力や自転車の操作特性などを含め、個々の自転車のブレーキシステムの適切な操作を充分理解し慣れるようにしてください。ブレーキシステムの操作が適切でないと、自転車のコントロールを失い事故のもとになり、また大怪我を招くとも限りません。適切な操作については、自転車専門店にご相談いただき、また自転車の取扱い説明書もよくお読みください。ご自分の自転車にお乗りになって、ブレーキ操作などを練習していただくことも大切です。
- 前ブレーキを強くかけると前輪がロックし、自転車が前方向に転倒して重傷を負う可能性があります。
- BR-7900にはST-7900/BL-TT79をご使用ください。BR-7900を従来のロード用STIレバー及びフラットハンドル用ブレーキレバーBL-R770/R550と組合わせて使用しないでください。極端なブレーキの効き過ぎ等の恐れがあります。
- キャリバーブレーキの取付ナットは、指定の締付トルクでしっかりと締付けてください。
 - ・ナットタイプのブレーキには、ナイロンインサートロックナット(緩み止めナット)を使用してください。
 - ・沈頭ナットタイプのブレーキには、ナットが6回転以上かみ合う適切な長さの沈頭ナットを使用し、再組立てのときには、ネジ部に封着剤(緩み止め接着剤)を使用してください。
 取付ナットが緩んでブレーキが外れると、車輪にかみ込んで転倒することがあります。特に前車輪の場合は、突然前方に放り出されて大怪我をすることがあります。
- 後用のブレーキを前ブレーキにはご使用できません。
- レバーの加工はカーボンの特性上厳禁です。レバーが折れてブレーキ操作ができなくなります。
- 乗車前にカーボンの剥離やクラック等のダメージがないか確認してください。ダメージがあれば修理しないで直ちに新しいものと交換してください。レバーが折れてブレーキ操作ができなくなります。
- 製品を取付ける時は、必ず取扱い説明書等に示している指示を守ってください。またその際、シマノ純正部品を使用をお勧めします。ボルトまたはナット等が緩んだり、製品が破損すると、突然に転倒して重傷を負う場合があります。
- ブレーキシューに油脂が付かないように注意してください。シューに油脂が付いた場合はシューを交換してください。ブレーキが効かなくなって危険です。
- ブレーキケーブルはサビあるいはほつれが無い点検し、ある場合は速やかに交換してください。ブレーキが効かなくなり危険です。
- 乗る前には必ず前後のブレーキが正しく作動するかどうか確認してください。
- 雨天時は制動距離が長くなります。スピードを控えて、早めの滑らかなブレーキ操作をしてください。
- 路面がぬれていると、タイヤがスリップしやすくなります。タイヤがスリップすると転倒して危険ですので、スピードを控えて、早めの滑らかなブレーキ操作をしてください。
- 取扱い説明書はよくお読みになった後、大切に保管してください。

使用上の注意


- カーボンレバーはやわらかい布を使って必ず中性洗剤で洗ってください。素材にダメージを与えて強度が落ちる可能性があります。
- カーボンレバーを高温な場所に放置したままにすることを避けてください。また火に近づけないでください。
- 当社ロード用のブレーキシューをセラミックリムに組合せた場合、ブレーキシューの摩耗が早くなります。
- ブレーキシューの溝が無くなるまで摩耗した時には、シューを交換してください。
- ブレーキシューにはそれぞれ特性があります。ブレーキシュー購入時に販売店にご相談ください。
- 通常の使用において自然に生じた摩耗および品質の劣化は保証いたしません。
- 取扱い方法及びメンテナンスについて疑問のある方は、購入された販売店にご相談ください。

ご使用方法

SI-8FN0A-003

BR-7900

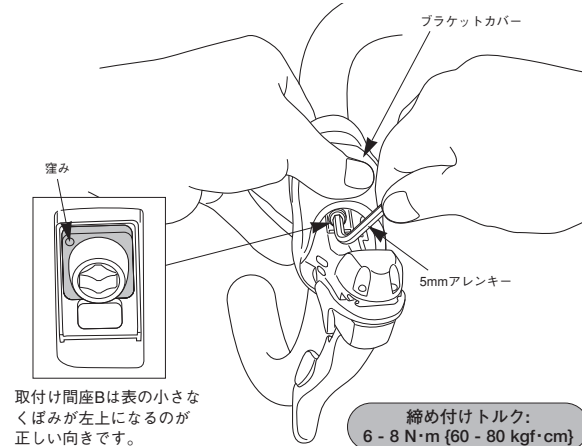
機能を十分に発揮させるために、次のラインナップによる使用を推奨いたします。

シリーズ	DURA-ACE
ブレーキレバー	ST-7900 / BL-TT79
キャリバーブレーキ	BR-7900
ブレーキケーブル (PTFEインナーケーブル)	

ブレーキレバーの取付け

1. ハンドルバーへの取付け

ブラケットカバーを前側から捲り5mmアレンキーで取付けナットを締め付けて固定します。



取付け間座Bは裏の小さなくぼみが左上になるのが正しい向きです。

締め付けトルク:
6 - 8 N·m {60 - 80 kgf·cm}

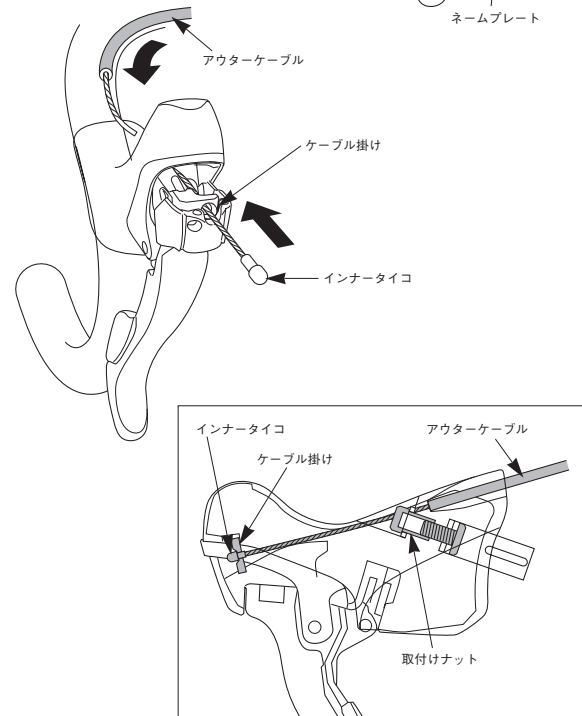
推奨締付けトルクにおいても、カーボンハンドルの場合には、ハンドルへの損傷ならびに固定不十分となる可能性があります。適切なトルク値に関しては、完成車メーカーまたはハンドルメーカーでご確認ください。

2. ブレーキケーブルの取付け

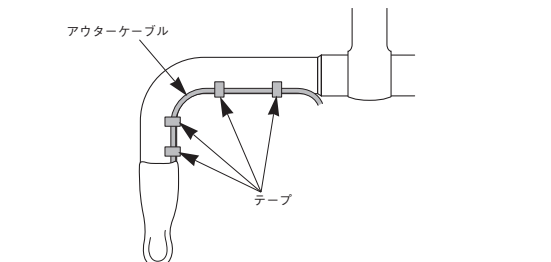
ネジを緩めてネームプレートを取り外します。



図のようにインナーケーブルを通し、インナーエンドをケーブル掛けにセットします。



アウターケーブルを、テープ等でハンドルバーに仮止めをします。



続いて、バーテープをハンドルバーに巻きつけます。

ご注意:

ケーブルはハンドルを左右一杯切っても余裕のある長さでご使用ください。

3. 握り幅調整

ネームプレートを取り外し、リーチアジャストボルトをマイナスドライバーで回して調整してください。調整時はブレーキ操作を確かめてください。



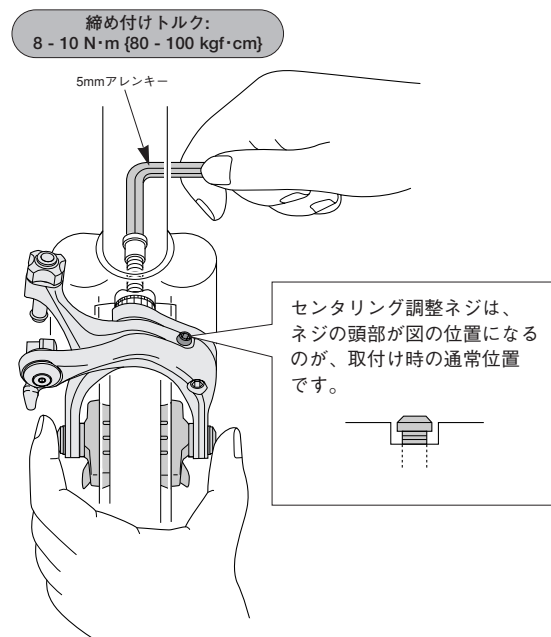
4. ネームプレートを取付けます。

締め付けトルク:
0.15 - 0.2 N·m {1.5 - 2 kgf·cm}

ブレーキの取付け

1. ブレーキ本体の取付け

アーチを握り、シューを強くリムに当てた状態でセットしてください。



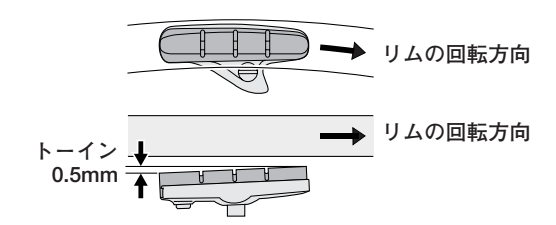
センタリング調整ネジは、ネジの頭部が図の位置になるのが、取付け時の通常位置です。

ご注意:

ハンドルを曲げた時に、ブレーキアームがフレームに当たる場合は、付属のフレーム用保護シールをフレームに貼ってください。

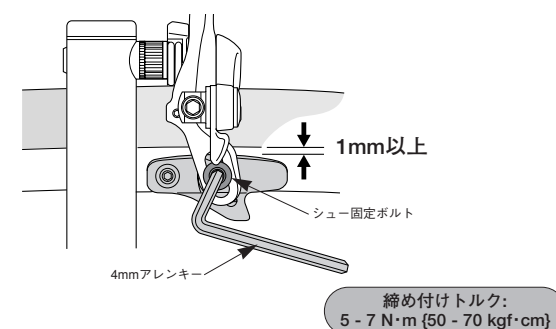
2. ブレーキシューのセット位置

シュー面とリム面が図のようになるよう調整した後、シュー固定ボルトを締付けます。



ご注意:

BR-7900は、シューのリムに対する当り角度(トーイン)が調整できるようになっています。トーインをつけることにより、スムーズなブレーキ操作が可能になります。



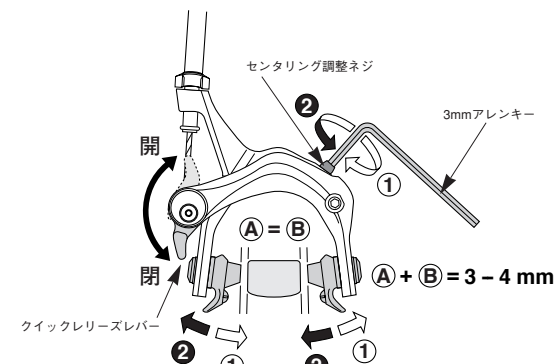
3. ケーブルの固定

クイックリリースレバーを“閉”の位置にして、シュークリアランスを下図のように調整し、ケーブルを固定します。

ケーブル固定ボルト締付トルク:
6 - 8 N·m {60 - 80 kgf·cm}

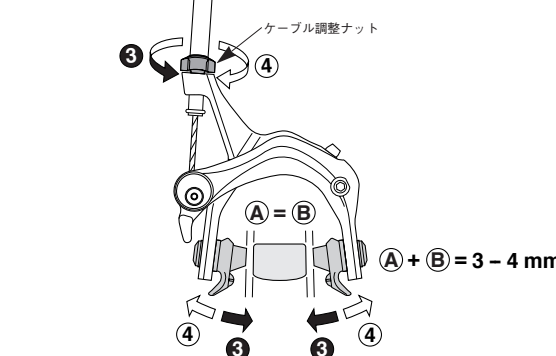
4. ブレーキシューのセンタリング

センタリング調整ネジで微調整を行います。



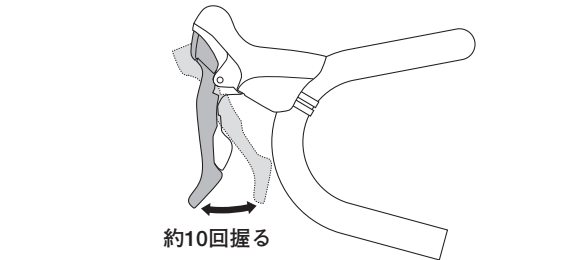
5. シュークリアランスの再調整

ケーブル調整ナットを回し、シュークリアランスの再調整を行います。



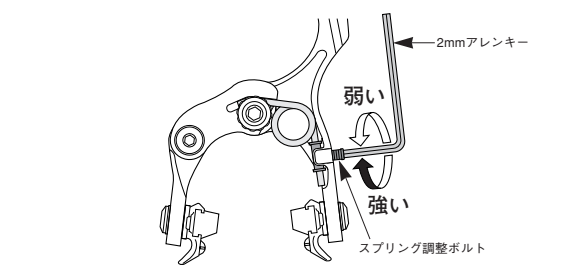
6. 確認

ブレーキレバーをグリップにつくまで約10回ほど握り、各部に異常がないことと、シュークリアランスを再確認してからご使用ください。



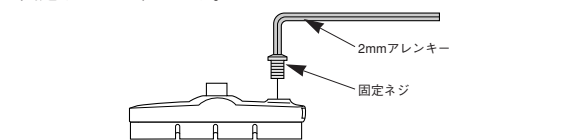
7. アーチのバネ力調整

スプリング調整ボルトで、アーチのバネ力調整ができます。

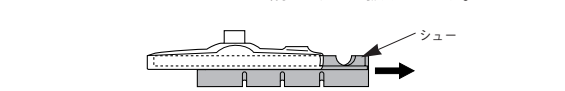


カートリッジシューの交換

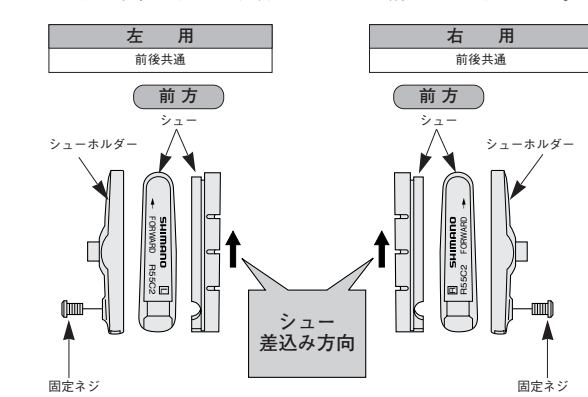
1. 固定ネジをはずします。



2. シューホルダーからシューを溝にそって抜取ります。



3. シューホルダーとシューには、右用・左用があります。方向とネジ穴の位置に注意し、新しいシューを溝にそって入れます。



4. 固定ネジを締付けます。

締め付けトルク:
1 - 1.5 N·m {10 - 15 kgf·cm}

*取扱い説明書は以下にてご覧いただけます。
<http://techdocs.shimano.com>

製品改良のため、仕様の一部を予告なく変更することがあります。

お客様相談窓口
☎ 0570-031961 Fax. 072-243-7847

株式会社シマノ
堺市堺区老松町3丁77番地 〒590-8577